

利水・環境・人との関わりに関する 取り組み状況

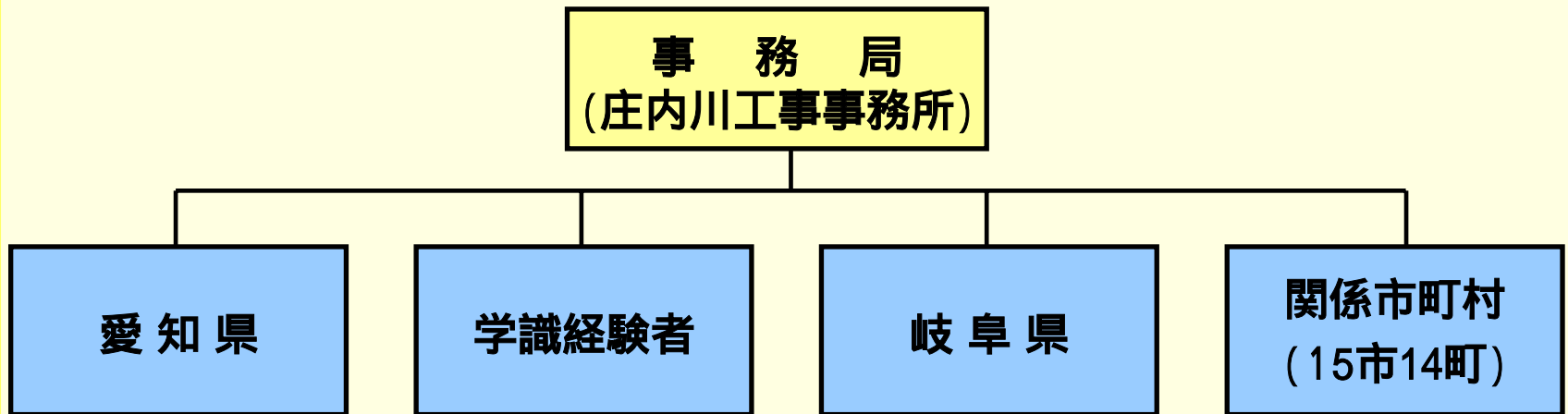


河川環境管理基本計画

目的

庄内川水系の将来の動向を踏まえた長期的視野に立ち、治水・利水機能を確保しながら、河川環境の適正な保全と利用に関わる施策を実施し、庄内川水系の望ましい河川像を確立するため策定された。

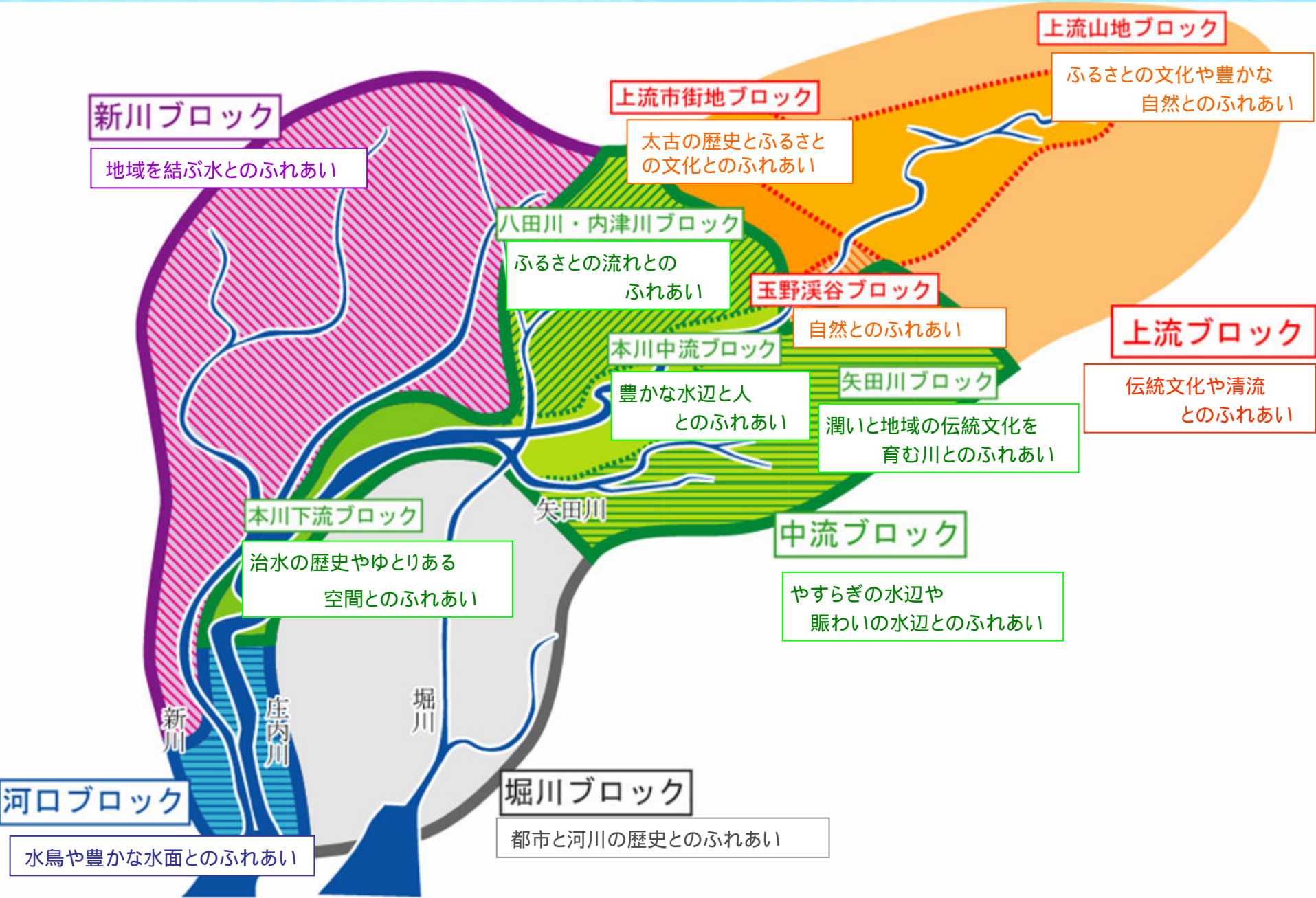
組織構成



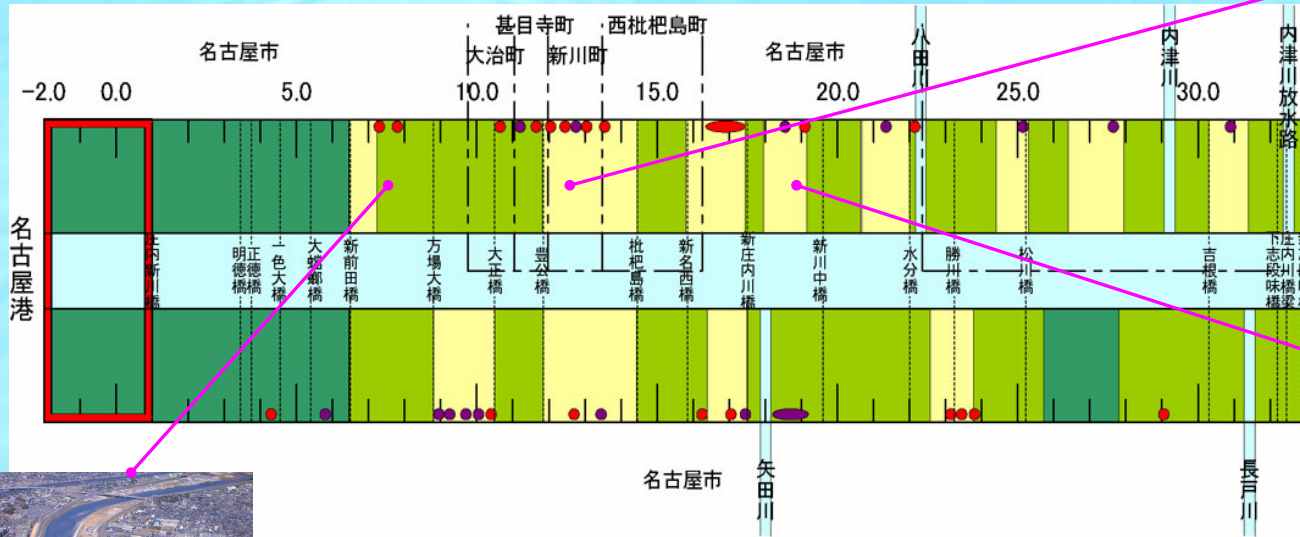
河川空間管理計画（昭和63年策定、平成6年3月改定）



河川空間管理計画(ブロック計画)

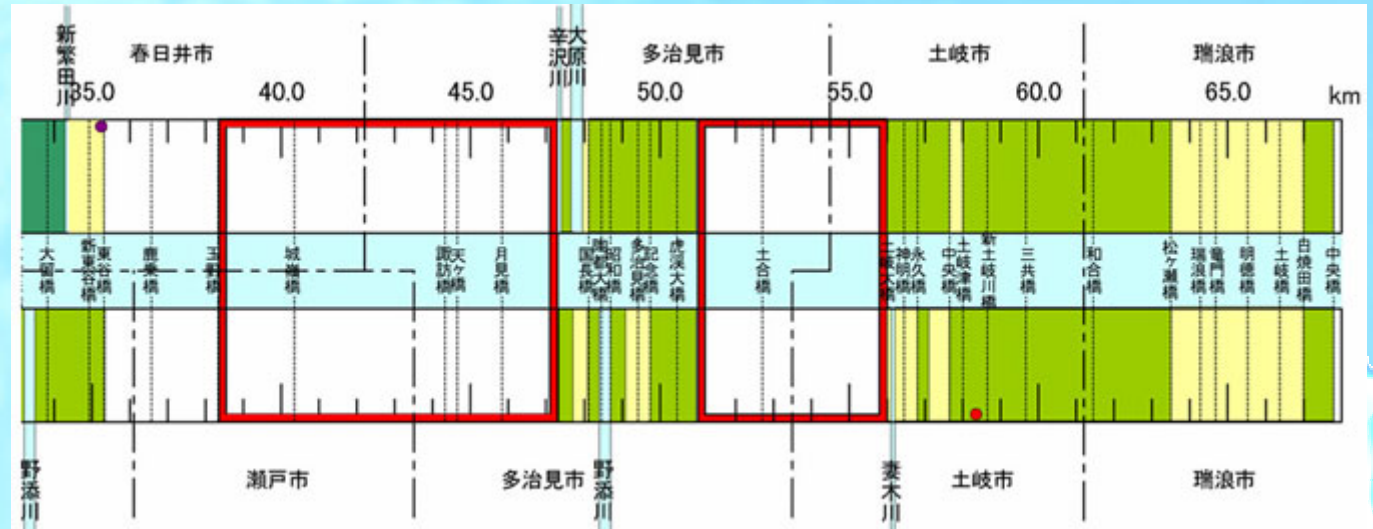


河川空間管理計画(ゾーニング計画)

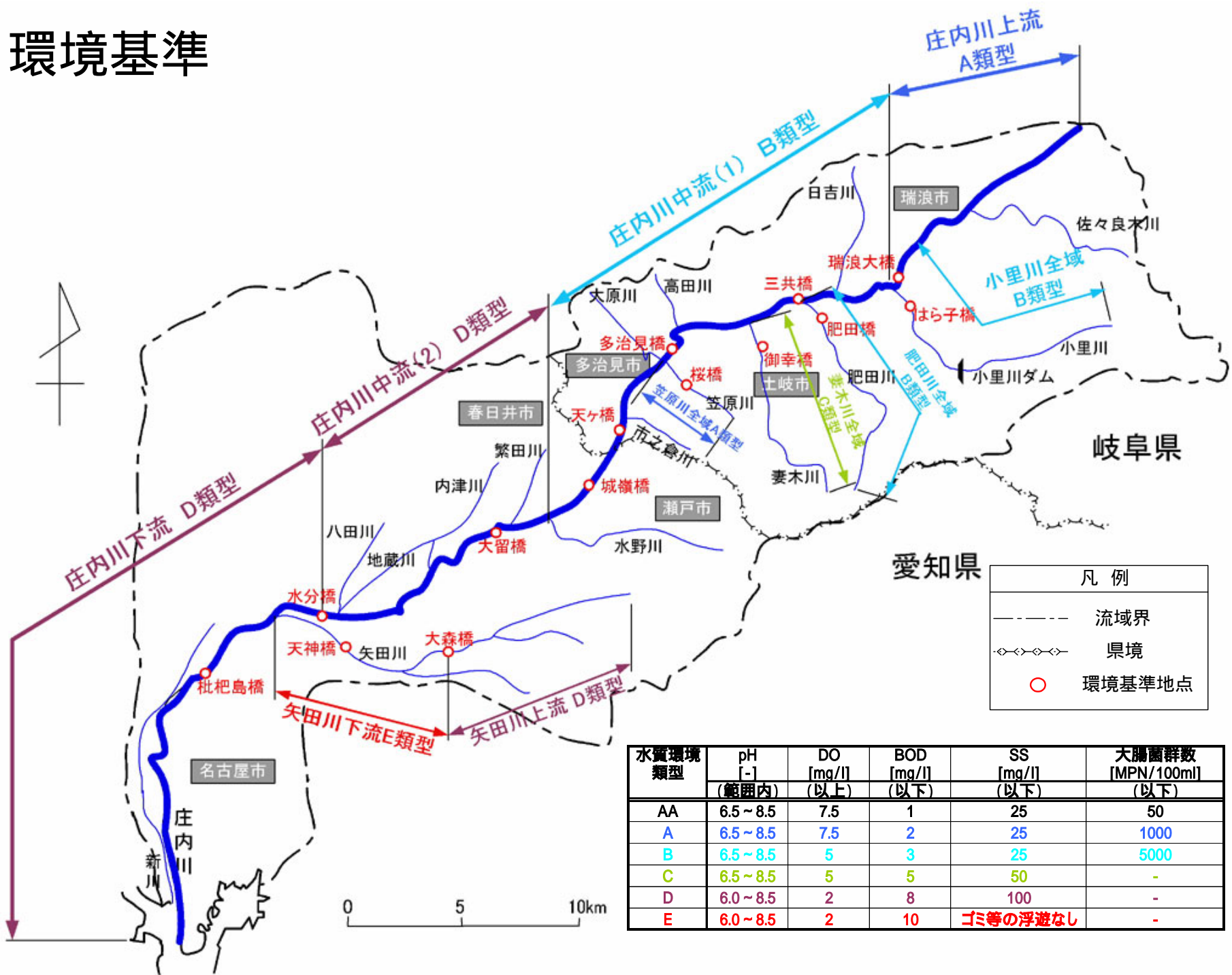


- 凡例(利用)
- 公園・緑地等
 - グラウンド・ゴルフ場等

- 凡例
- 自然ゾーン
 - 整備ゾーン
 - 自然利用ゾーン
 - 景観ゾーン (強調ゾーン)



環境基準



凡例	
-----	流域界
-----<-->-----	県境
○	環境基準地点

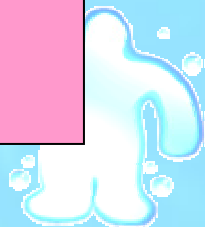
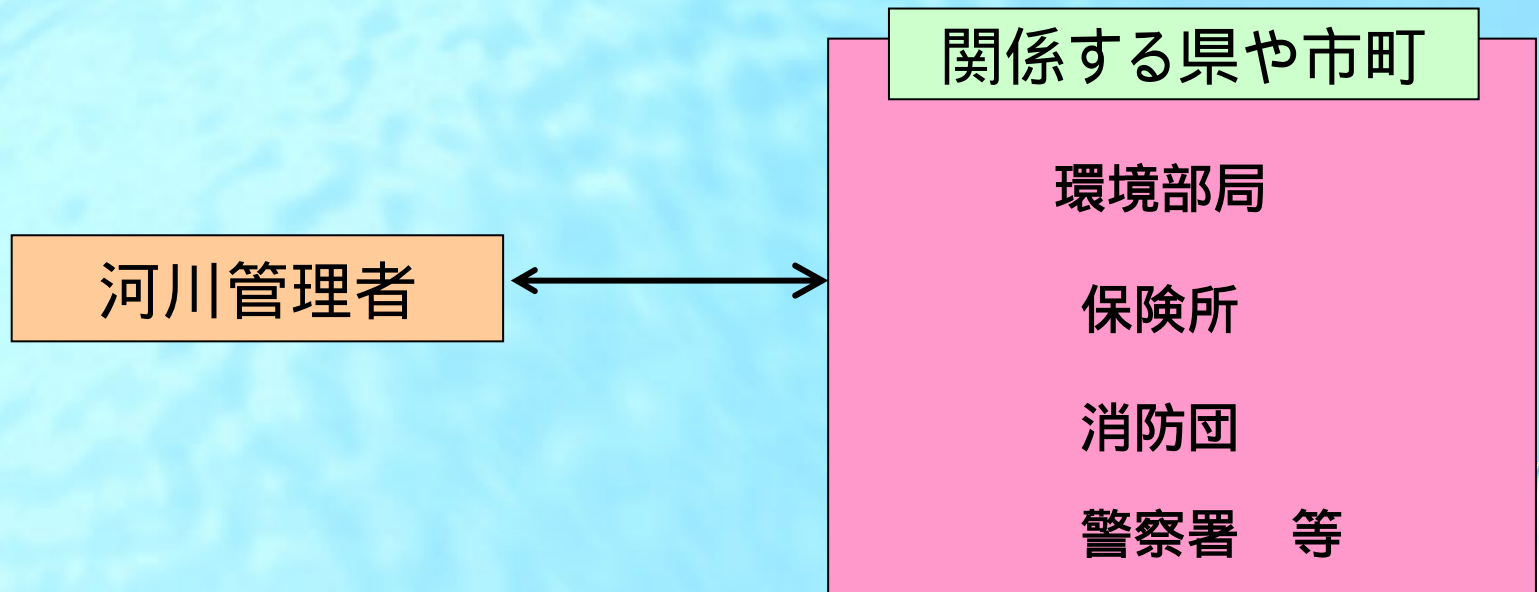
水質環境 類型	pH	DO	BOD	SS	大腸菌群数
	[-]	[mg/l]	[mg/l]	[mg/l]	[MPN/100ml]
	(範囲内)	(以上)	(以下)	(以下)	(以下)
AA	6.5~8.5	7.5	1	25	50
A	6.5~8.5	7.5	2	25	1000
B	6.5~8.5	5	3	25	5000
C	6.5~8.5	5	5	50	-
D	6.0~8.5	2	8	100	-
E	6.0~8.5	2	10	ゴミ等の浮遊なし	-

・水質保全連絡協議会

目的

協議会は、庄内川水系の河川及び水路に係る水質保全に関する各関係機関相互の連絡調整をはかることを目的とする。
また、水質に関する調査や啓発活動などを行う。

組織体制



・水質事故写真



白濁の様子 (H9年2月3日)
古虎溪橋付近

魚のへい死状況 (H13年6月20日)
稲永公園付近



・啓発活動

親子観察会(水生生物調査)
東谷橋付近(H14年8月18日)



庄内川中下流部の浄化対策

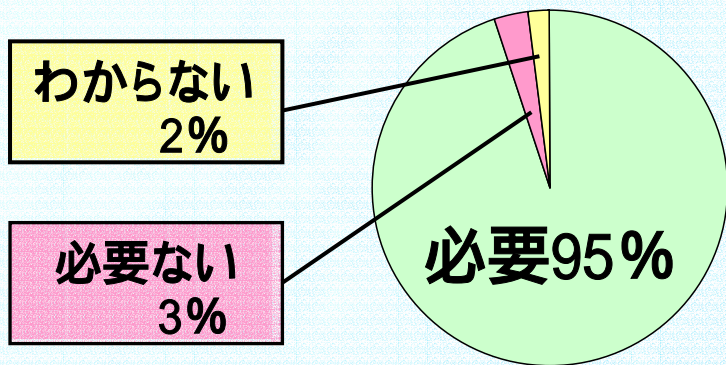
BODやSS、透視度、色、におい、泡の除去が期待できる水質浄化技術を募集
選定した技術を浄化実験に採用



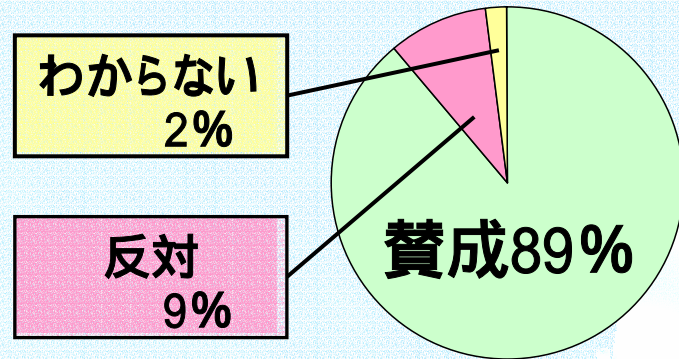
実験施設設置予定箇所(来年度より実験開始予定)

アンケート調査結果より多くの方の賛成をいただきました。
(H14年11月3日(日)りばーぴあ庄内川2002(イベント)より、有効回答者625名)

水質を良くするための対策は必要だと思いますか？



対策を行うためにお金の負担をあなたに
お願いした場合賛成していただけますか？



・堀川の動き (庄内川から堀川への暫定的な導水対策)

- ・H10年9月 ・地下鉄工事に伴う湧水を堀川上流部へ導水 (最大 $0.3\text{m}^3/\text{s}$)
 - ・良好な水環境が形成される。



地下鉄工事に伴い湧出する地下水(黒川樋門)

- ・H13年7月 ・地下鉄工事完了を受けて、堀川上流部の枯渇を防ぐため庄内川から暫定導水 (最大で $0.3\text{m}^3/\text{s}$)

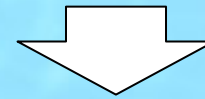


庄内川からの暫定導水(黒川樋門)

- ・H14年7月 ・堀川が、清流ルネッサンス 対象河川に選定されたことにより、堀川水環境改善協議会で今後のあり方を検討



・ビオトープ試験地(長須賀)



モニタリング風景



・ビオトープ試験地(長須賀)

ビオトープ連絡会

調査実施項目

- ・植生調査
- ・施設調査 等

国土交通省

協力

協力

調査結果の報告
維持管理等の意見交換

矢田庄内川を
きれいにする会

尾張野鳥の会

協力

調査実施項目

- ・魚類調査
- ・底生動物調査
- ・水質調査
- ・底質調査

調査実施項目

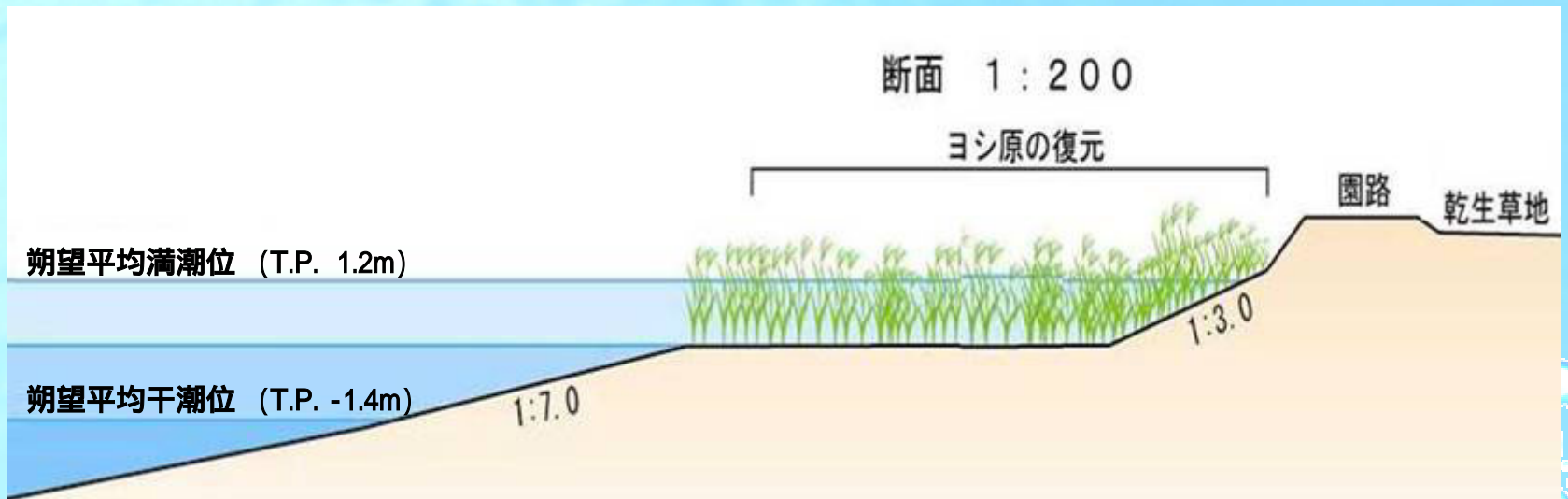
- ・鳥類調査
- ・陸生昆虫調査



・ビオトープ試験地跡(長須賀)



ビオトープ調査の知見から、ヨシの生育に適した物理環境を創出している。



・ビオトープ(志段味)

H15年3月の状況



H15年9月の状況



・激特事業の主な環境対策

河道掘削(護岸施工)時の環境対策

法勾配は可能な限り緩傾斜(概ね1:3 ~ 1:6)

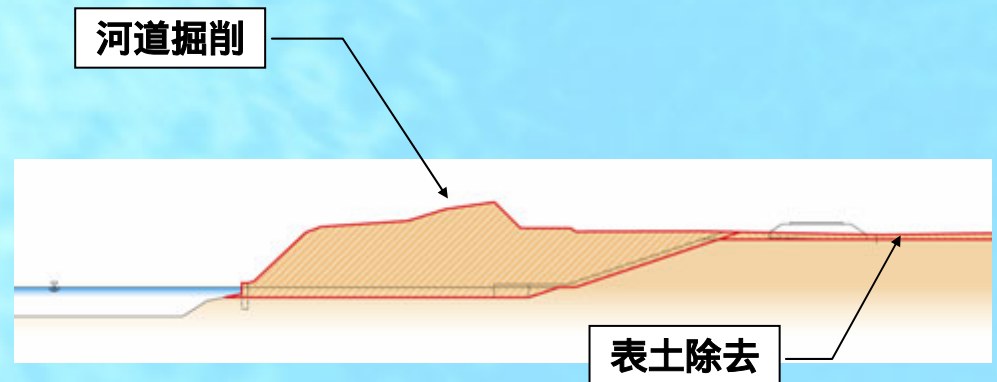
自然なアンジュレーション

表土を覆土として活用

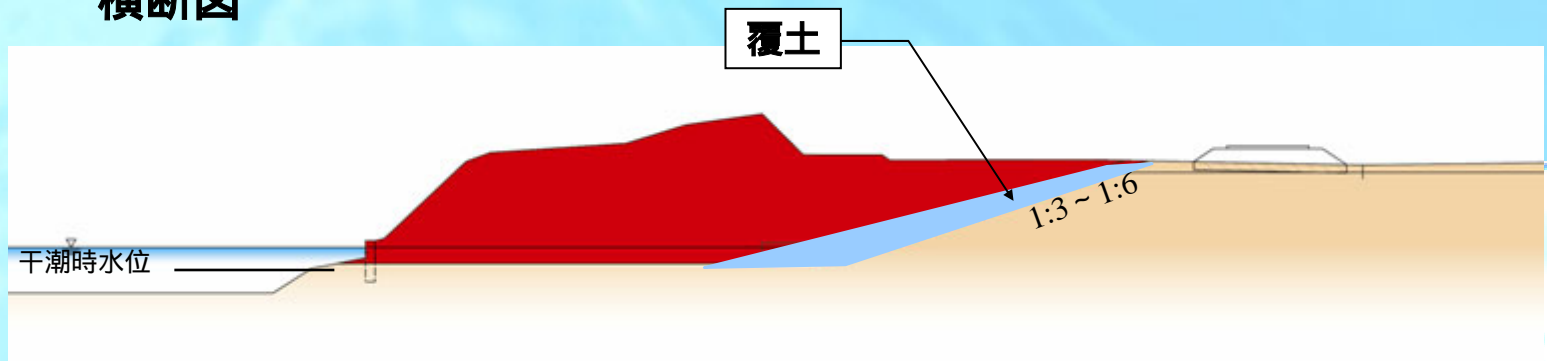
施工箇所の現況



横断面図



横断面図



・復緊事業の主な環境対策 (間伐材や発生材(詰石)を利用)



(間伐材や発生材(詰石)を利用)

土岐津橋付近(右岸)に木工沈床を設置した。
(子供たちが木工沈床を作成している様子)



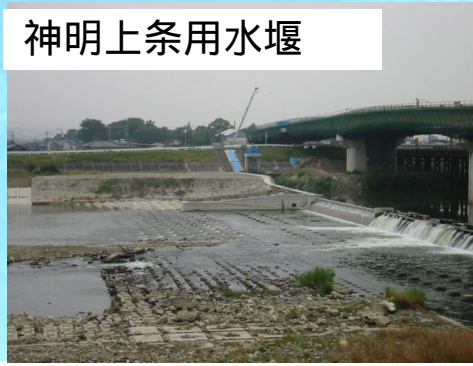
魚がのぼりやすい川づくり

魚類遡上から見た区間評価

(平成14年4月現在)

注)「魚ののぼりやすさから見た
河川横断施設概略点検マニュアル(案)」に基づいた評価

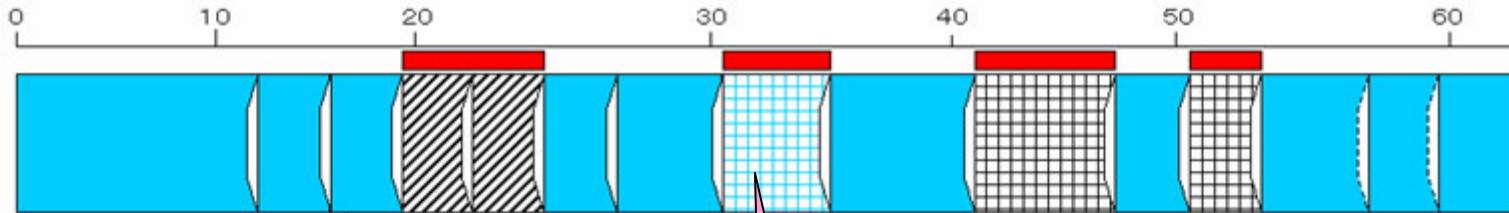
神明上条用水堰



高貝用水堰



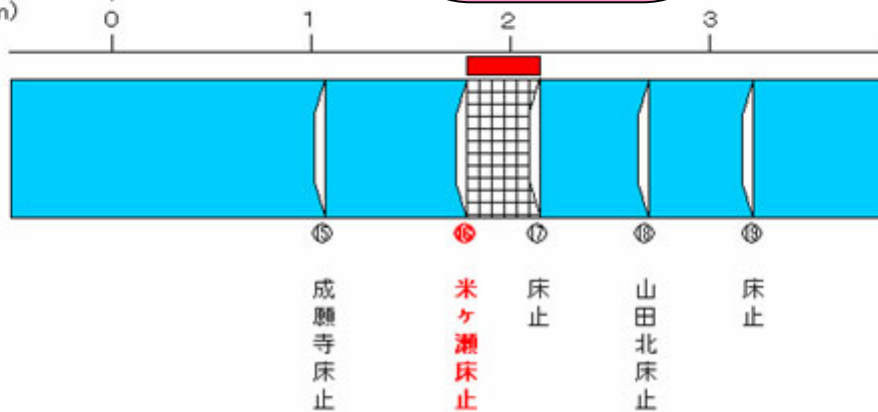
<庄内川> 河口からの距離(km)



- ① 枇杷島床止
- ② 小田井床止
- ③ 山西用水堰
- ④ 庄内用水頭首工
- ⑤ 中央線下流床止
- ⑥ 八ヶ村用水堰
- ⑦ 神明上条用水堰
- ⑧ 高貝用水堰
- ⑨ 玉野堰
- ⑩ 昭和橋床止
- ⑪ 多治見水道取水堰
- ⑫ 多治見農業用水堰
- ⑬ 土岐堰 H13撤去
- ⑭ 浅野床止 H13撤去

H14魚道完成
(愛知県)

<矢田川> 合流部からの距離(km)



小田井床止



凡 例	
	遡上支障有り区間
黒文字	遡上支障無し区間の堰
赤文字	遡上支障有り区間の堰
	遡上が可能な区間
	遡上がやや困難な区間
	遡上が困難な区間
	遡上が不可能な区間

・土岐川水辺の楽校(多治見市)



土岐川観察館

・福祉の川づくり

目的

都市部の貴重なオープンスペースである河川空間に、誰もがあたり前に、安心してくつろげる水辺空間をつくる。

活動

様々な立場の方からの意見を伺い、「庄内川福祉の川づくり計画案の検討」「ワークショップの開催(モデル地区:名古屋市中川区長須賀地区)」等の活動を行っている。



・土岐川・庄内川流域ネットワークの川づくり

土岐川・庄内川流域で河川に関わる活動を行っている団体、個人が集まって情報の交換や交流を行っている。



才井戸流れ



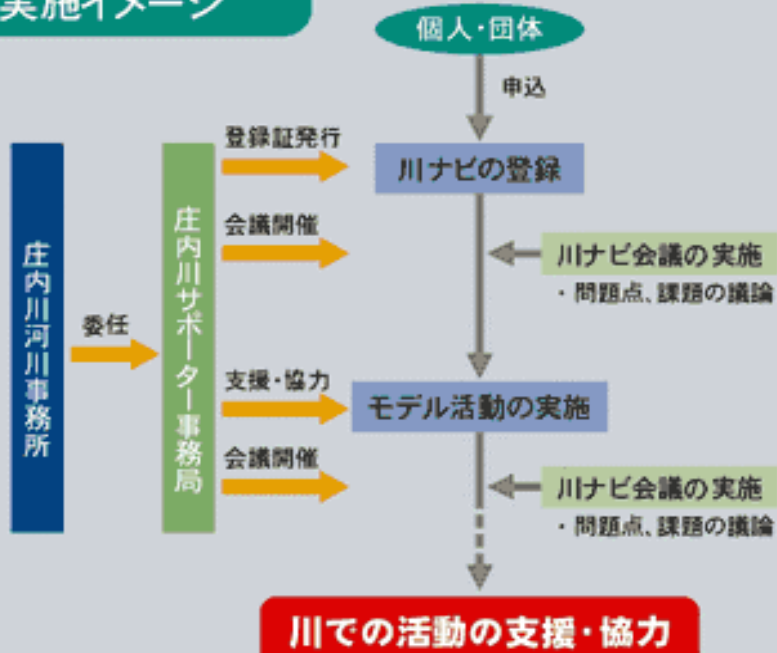
河口干潟



川ナビモデル事業

庄内川・土岐川において、河川周辺での活動に対する様々な要請に応えるための制度で、川ナビは“自然観察、生物調査、歴史探索、川遊びなどの川に関する活動を実施・支援する指導・案内ボランティア”を指している。

実施イメージ



川ナビモデル活動への支援

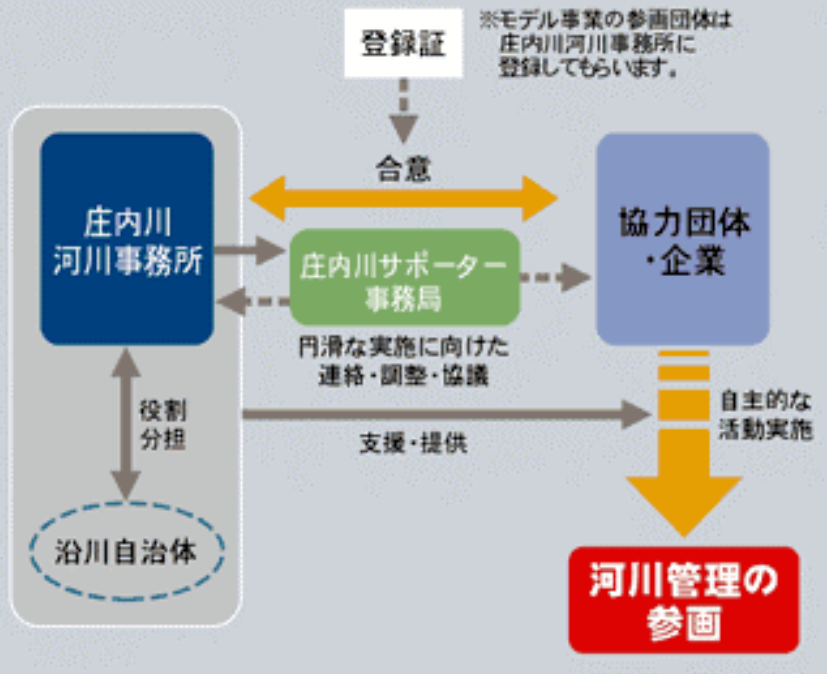
- ・登録、手帳、腕章などの発行
- ・川ナビ会議の開催
- ・HPなどによるモデル事業の広報
- ・モデル活動の支援・協力（活動実施の広報、活動実施のための連絡調整など）他



アダプトモデル事業

庄内川アダプトでは幅広い河川管理への参画を目指したモデル事業を実施する中で、「庄内川沿川に暮らす住民が庄内川に誇りを持ち、より良い河川環境を実現していくために、河川管理者と共に流域住民が河川管理へ自主的に参画していくこと」を目指している。

アダプト実施イメージ



庄内川アダプトへの支援

- ・看板の設置
- ・手帳・腕章等の発行
- ・HPなどによる活動の広報
- ・その他

庄内川アダプトの活動内容

- ・河川敷の清掃
 - ・河川パトロールの実施
 - ・水防活動への参加
 - ・河川環境調査
 - ・花壇づくりや管理
- 注) 活動内容や活動頻度は参加団体毎に異なります。



・川ECOクラブ

目的

川に親しむ機会として、川に棲む生き物を調べたり、試薬による水質調査、河川工事現場見学など、楽しみながら流域環境と川の役割への興味・関心を深める。

川に暮らしている生き物や水の中の様子、まわりの環境を調べると、いろんな発見がいっぱい！！
キミも、調査に参加して、川の博士になろう！！



・住民と一体となった河川清掃



・地域とNPOと一体となった活動



子供達による
環境宣言



パース展示

・水利用と水質の現状と課題

水利用と水質の現状

- ・かんがいと一部の工業用水にのみ利用されている現状
- ・木曽川の水に依存している現状
- ・水質環境は改善傾向にあるが、さらに改善の余地がある現状
(全国BODワースト12位(H14年))

水利用と水質の課題

- ・現状の農地利用に見合った水利用
- ・環境に配慮した弾力的な水利用
- ・排水規制の強化と適正な運用(監視)
- ・下水道等の整備推進
- ・環境に対する意識の向上
- ・環境にやさしい生活様式への転換



・河川の自然環境の現状と課題

河川の自然環境の現状

- ・流域の市街化に伴い、河川への自然環境依存が高い現状
- ・外来種が生育している現状

河川の自然環境の課題

- ・治水との調和のとれた環境対策(環境保全)
- ・河川内に残された自然環境の保全と外来種対策



・人との関わりの現状と課題

人との関わりの現状

- ・兼用道路として堤防が利用されており、一部堤防内にアンダーパスが存在する現状
- ・公園・グラウンド等による多様な高水敷利用がされている現状
- ・河道内施設・占用家屋が多く存在する現状)

人との関わりの課題

- ・堤防の適正管理
- ・管理用通路の確保
- ・占用家屋の移転
- ・高水敷の適正利用
- ・占用施設の適正利用
- ・川へのアクセスの確保
- ・動植物の移動障害対策(グラウンド、取水堰等による)
- ・ホームレス対策
- ・不法投棄対策



・課題に対する主な取り組み

水質

- ・水質保全連絡協議会の中での啓発活動
- ・庄内川中下流部の水質浄化実験
- ・庄内川から堀川へ、良好な水環境形成のための暫定導水

自然環境

- ・長須賀のビオトープ試験地跡におけるヨシ原再生
- ・志段味ビオトープの整備
- ・激特事業における環境対策(法勾配の緩傾斜化 等)
- ・復緊事業における環境対策(木工沈床の設置)
- ・魚がのぼりやすい川づくりによる魚道の設置

人との関わり

- ・住民と一体となった河川清掃(川と海とのクリーン大作戦 等)

